

記載例

本例はあくまでもひとつの記入例です。各自の事業形態に沿って記入してください。

郡山市長 様

許可
破砕業 申請書
許可の更新

申請受付時に記入していただきます。

※許可番号	
※許可年月日	

■●○○年 △月 ◆日

(郵便番号) 9 6 3 - 8 0 2 5
住 所 福島県郡山市桑野一丁目 1 番 1 号
氏 名 桑野プレス株式会社
代表取締役 桑野次郎
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0 2 4 - 9 2 4 - 3 1 7 1

使用済自動車の再資源化等に関する法律第 6 8 条第 1 項の規定により、必要な書類を添えて破砕業の許可（許可の更新）を申請します。

事業の範囲	破砕前処理（圧縮）		
事業所の名称及び所在地			
	名 称	桑野プレス株式会社	
	所在地	(郵便番号) 9 6 3 - 8 0 2 5 福島県郡山市桑野一丁目 1 番 1 号 電話番号 0 2 4 - 9 2 4 - 3 1 7 1	
事業の用に供する施設の概要	圧縮施設 △△重工プレス○○型（能力 △△t／日）1 基 保管施設（廃車ガラ、プレス）面積○○㎡ 建屋内に圧縮施設、保管施設とも設置（コンクリート打設、油水分離槽 1 基）運搬車両 1 台（平ボデー） ※別紙、事業所の施設を明らかにする図面等のおりとして省略可		
当該施設について廃棄物処理施設の設置の許可を受けている場合には、その許可の年月日及び許可番号	年 月 日 第 号		
他に解体業又は破砕業の許可（他の都道府県のものを含む。）を有している場合にあっては、その許可番号（申請中の場合にあっては、申請年月日）	都道府県・市名	許可番号（申請中の場合にあっては、申請年月日）	
	郡山市	解体業許可（第○○○○○○○○○○号）	
他に廃棄物処理法に基づく産業廃棄物処理業の許可（他の都道府県のものを含む。）を有している場合にあっては、その許可番号（申請中の場合にあっては、申請年月日）	都道府県・市名	許可番号（申請中の場合にあっては、申請年月日）	
	○○県	収集運搬業（第○○○○○○○○○○号）	
破砕業を行おうとする事業所以外の場所で解体自動車又は自動車破砕残さの積替え又は保管を行う場合には、当該場所の所在地、面積及び保管量の上限	該当なし		

役員の氏名及び住所（業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者をいい、相談役、顧問その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、法人に対し業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者と同等以上の支配力を有するものと認められる者を含む。法人である場合に記入すること。）

(ふりがな) 氏 名	役職名	住 所
くわの じろう 桑野次郎	代表取締役	福島県郡山市桑野一丁目1番1号

令第5条に規定する使用人の氏名及び住所（当該使用人がある場合に記入すること。）

(ふりがな) 氏 名	役職名	住 所

法定代理人の氏名及び住所（未成年者であり、かつ、その法定代理人が個人である場合に記入すること。）

(ふりがな) 氏 名	住 所

法定代理人の名称及び住所並びにその代表者の氏名（未成年者であり、かつ、その法定代理人が法人である場合に記入すること。）

名 称	
(ふりがな) 代表者の氏名	
住 所	(郵便番号) 電話番号

法定代理人の役員の氏名及び住所（業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者をいい、相談役、顧問その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、法人に対し業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者と同等以上の支配力を有するものと認められる者を含む。未成年者であり、かつ、その法定代理人が法人である場合に記入すること。）

(ふりがな) 氏 名	役職名	住 所

発行済株式総数の100分の5以上の株式を有する株主又は出資の額の100分の5以上の額に相当する出資をしている者（法人である場合において、当該株主又は出資をしている者があるときに記入すること。）

（ふりがな） 氏名又は名称	住 所	保有する株式の数 又は出資の金額
くわの じろう 桑野次郎	福島県郡山市桑野一丁目1番1号	100株

標準作業書の記載事項

解体自動車の保管の方法	保管場所の範囲を明確化にし、保管基準を遵守して保管する。 解体自動車以外の他の廃棄物が混入しないように留意する。 ※「別添標準作業書の記載とおり」として省略しても可
解体自動車の破砕前処理を行う場合にあっては、解体自動車の破砕前処理の方法	生活環境の保全上支障がないように留意し適切に破砕前処理を行う。解体自動車以外の他の廃棄物が混入しないように留意する。 ※「別添標準作業書の記載とおり」として省略しても可
解体自動車の破砕を行う場合にあっては、解体自動車の破砕の方法	破砕工程は行わないので該当なし。
排水処理施設の管理の方法（排水処理施設を設置する場合に限る。）	油水分離装置の清掃を定期的実施し、適切に管理する。 ※「別添標準作業書の記載とおり」として省略しても可
解体自動車の破砕を行う場合にあっては、自動車破砕残さの保管の方法	破砕工程は行わないので該当なし。
解体自動車の運搬の方法	自社の運搬車両で処分基準に従い運搬する。 ※「別添標準作業書の記載とおり」として省略しても可
解体自動車の破砕を行う場合にあっては、自動車破砕残さの運搬の方法	破砕工程は行わないので該当なし。
破砕業の用に供する施設の保守点検の方法	定期的に点検を実施し、油漏れ等がないことを確認する。 ※「別添標準作業書の記載とおり」として省略しても可
火災予防上の措置	場内は火気厳禁とする。消火器を配置する。 ※「別添標準作業書の記載とおり」として省略しても可

△手数料欄

備考 1 △印の欄は、記入しないこと。

2 ※印の欄は、更新の場合に記入すること。

3 事業所が複数ある場合には、「事業所の名称及び所在地」から「当該施設について廃棄物処理施設の設置の許可を受けている場合には、その許可の年月日及び許可番号」までの欄を繰り返し設け、事業所ごとに記載すること。

4 「事業の用に供する施設の概要」の欄については、当該施設の構造を明らかにする図面等を添付することでも可能とする。

5 「役員の氏名及び住所」の欄その他の氏名又は名称及び住所の記載を要する各欄については、該当するすべての者を記載することとし、記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、その書面を添付すること。

6 「標準作業書の記載事項」の欄については、当該標準作業書の全文の写しを添付することでも可能とする。

7 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

(様式第 2 - 2 号)

事業所の施設の概要書 (破碎施設)

事業所の名称・所在地			桑野プレス株式会社 福島県郡山市桑野一丁目 1 番 1 号			
処理施設概要	産業廃棄物処理施設等の許可年月日・許可番号		指定処理施設受理番号第 0 0 0 0 号			
	廃油・廃液等の地下浸透防止対策		床面が鉄筋コンクリート (厚さ 2 0 c m)			
	施設の構造及び設備の概要		排水溝を設け油水分離槽を経て排水 油水分離槽：容積250ℓ 3層分離			
	廃棄物処理基準に基づく生活環境の保全上支障防止対策 (飛散・流出、悪臭・騒音・振動、衛生害虫、地下浸透、地下水汚染等の防止対策)		飛散防止：施設全体に囲い (ネットフェンス高さ1.8m、出入り口は鉄製門扉) 流出防止：屋根の降雨は雨水排水溝により排水、解体作業所内からの排水は油水分離槽 (容積250ℓ 3層) を経て排水 悪臭防止：悪臭のするものは取り扱わない 騒音・振動・衛生害虫の発生防止：標準作業書により解体処理機械又は施設全体の維持管理をして対応する 地下浸透・地下水の汚染等の防止対策：廃油・廃液を取扱う床面は鉄筋コンクリート作り (厚さ20 c m)			
処理前後の保管施設	保管の対象物		解体自動車		処理物・シュレッダーダスト	
	保管施設の面積(㎡)		〇〇〇㎡		〇〇〇㎡	
	保管量の上限 (㎡)		〇〇〇㎡ (15 ㎡/台×〇〇台)		〇〇〇㎡ (15 ㎡/台×〇〇台)	
	保管の高さ (m)		3 m (2 段)		3 m (2 段)	
	設備の概要 (囲い、門扉の構造等)		施設全体をネットフェンスで覆う 床面：鉄筋コンクリート 20 c m		施設全体をネットフェンスで覆う 床面：鉄筋コンクリート20 c m	
有用金属・廃棄物の保管	保管の対象物		プレスガラ			
	ほか施設の面積(㎡)		〇〇〇㎡			
	保管量の上限 (㎡)		〇〇〇㎡			
	保管の高さ (m)		3 m			
	設備の概要 (囲い、門扉の構造等)		施設全体をネットフェンスで覆う 床面：鉄筋コンクリート20 c m			
土地の概要	字 名	地番	面積	地目	土地所有者の氏名及び住所	使用権
	桑野一丁目	1 - 1	〇〇〇㎡	雑種地	朝日太郎 (郡山市朝日一丁目 2 3 - 7)	借地権

(様式第4－2号)

誓 約 書

申請者は、使用済自動車等の再資源化に関する法律第69条第1項第2号に適合することを誓約します。

■■〇〇年 △月 ◆日

申請者

住 所 郡山市桑野一丁目1－1

氏 名 桑野プレス(株)

代表取締役 桑野次郎

(法人にあっては名称及び代表者の氏名)

郡山市長 様

(様式第 3－1 号) (様式第 3－2 号) (様式第 5 号) については、解体業の記載例を参考にしてください。